

光岳寺

光岳寺は、1644 年に現在の愛知県に創建されました。この寺は稲垣家の菩提寺です。稲垣は鳥羽城とこの地域を与えられた際、1726 年にこの寺を鳥羽に移しました。境内には稲垣家と家臣の一部の墓があります。

光岳寺には、1592 年の豊臣秀吉による朝鮮出兵の際に九鬼嘉隆が建造した巨大な旗艦「日本丸」の一部が保存されています。本堂には、かつてこの船の居住部分を飾っていた絵付の襖が 4 枚置かれています。これらの襖は、江戸時代（1603-1867）に船が解体された後、鳥羽城に飾られていました。地元の歴史家は、これらは明治時代（1868-1912）に鳥羽城が取り壊された時に光岳寺に売却されたと考えています。

襖には、鳥や花、舞う鷺、そして森の中の雄鶏が描かれています。これらは鳥羽市の文化財に指定されています。